

木ノ下歌舞伎主宰・木ノ下裕一による、
歌舞伎をひらいて江戸・東京をめぐる

オンライン企画始動!

第1回

両国と 三人吉三

魂をしずめる場所



第2回

鐘ヶ淵と 隅田川物

物語の生まれる場所



第3回

深川と 四谷怪談

生と死がまざりあう場所



Illustration / FUKUDA ayahana

東京芸術劇場 × 木ノ下歌舞伎 配信レクチャーシリーズ

歌舞伎 街めぐり

木ノ下裕一の古典で読み解く江戸 ↔ 東京 講座

2021年(令和3年)9月以降、全3回配信!



東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

東京芸術劇場と木ノ下歌舞伎がタッグを組み、新たな配信レクチャー企画をスタートします！

名作歌舞伎の舞台となった江戸・東京の地をテーマに、毎回ひとつの土地と、ゆかりの演目の数々を紐解き、街の古層を掘り起こす全3回。

木ノ下裕一による解説、木ノ下歌舞伎作品に登場した俳優陣の朗読、さらには映像配信ならではの仕掛けも盛り込んで、それぞれの土地をナビゲートします。

〈歌舞伎〉のレンズを通してみれば、江戸から東京が、東京から江戸が見えてくる。

歌舞伎&街歩きファンがディープに楽しむもよし、初心者が入門編として触れるもよし。

東京の歴史と歌舞伎演目の秘密、どちらも学べる欲張りなプログラムにご期待ください！

東京芸術劇場 × 木ノ下歌舞伎 配信レクチャーシリーズ

歌舞伎 街めぐり

木ノ下裕一の古典で読み解く江戸⇄東京 講座

講師：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰） 朗読：大石将弘、永井茉莉奈 作曲・演奏：やまみちやえ

第1回

両国と「三人吉三」

～魂をしずめる場所～

配信日 2021年9月10日(金)～9月19日(日)

江戸で一、二を争う盛り場であった両国は、様々な歌舞伎作品で描かれてきました。ここでは、江戸末期から明治にかけての大作者・河竹黙阿弥の代表作『三人吉三廓初買』（さんになきさちさくわのはつがい）を取り上げます。火災や地震、空襲などに見舞われつつも都市の慰霊地としての役割を果たしてきた両国。終わりゆく江戸へのレクイエムとしても読むことができる『三人吉三』。江戸の人々がこの土地に託した想いを掘り下げていきます。

第2回

鐘ヶ淵と「隅田川物」

～物語の生まれる場所～

配信日 2021年11月5日(金)～11月14日(日)

浅草寺から鐘ヶ淵にかけては江戸屈指の観光スポットであり、江戸っ子の郷愁をそそる場所でもありました。同時に、鐘ヶ淵に伝わる「梅若伝説」は、能『隅田川』をはじめ数々の浄瑠璃や歌舞伎で取り上げられ、「隅田川物」という一大作品群へと発展していきます。近松門左衛門、鶴屋南北、河竹黙阿弥ら作者たちがバトンを受け継ぐように描き続けてきた「隅田川物」のめぐるめく世界にご案内します。

第3回

深川と「四谷怪談」

～生と死がまざりあう場所～

配信日 2022年1月14日(金)～1月23日(日)

庶民の町である深川は、貧困、悲喜、汗と涙……人々のささやかな営みがぎっしり詰まった土地でした。人間の営みをリアルな筆致で描く「生世話」（きぜわ）を得意とした稀代の作者・鶴屋南北もまた、ここ深川に暮らし、没しています。彼の代表作『東海道四谷怪談』に描かれた深川を紐解きながら、社会へのシビアな目線と人間へのあたたかい眼差しを併せ持った南北が、この土地に何を見ていたのかに迫ります。

◆チケット料金(税込)：1回分 1,000円

※この企画は、オンライン動画配信でのみご覧いただけます。
※企画内容には変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※営利目的の転売は固くお断りいたします。

最新情報は、東京芸術劇場のウェブサイトをご確認ください。

◆チケット発売日

第1回 2021年9月4日(土) 10:00
第2回 2021年10月30日(土) 10:00
第3回 2022年1月8日(土) 10:00

◆チケット情報

配信チケット取扱い チケットぴあ
<https://w.pia.jp/t/kabukihiraki/>

◆スタッフ

ディレクション：須藤崇規 構成：稲垣貴俊 衣裳：臼井梨恵 ヘアメイク：Eita(Iris)、遠山直樹(Iris) テーマ曲演奏：望月庸子、藤舎呂近、迎田優香、西垣秀彦
イラストレーション・デザイン：福田あやはな 撮影：富田了平、三上亮、宮田真理子 撮影アシスタント：小西楓 編集：須藤崇規 文芸：山道弥栄 制作：本郷麻衣

◆お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <https://www.geigeki.jp/>